



西小の取組紹介④

がんばっている西小の子どもたちや先生方を紹介します！

5 年が宿泊学習に行ってきました！

6 月 11 日（水）12 日（木）の 2 日間、5 年生が梅田にある桐生市野外活動センターにおいて宿泊学習を行いました。1 日目は、梅雨入り直後で、あいにくの天気でしたがカヌー体験をすることができました。午後には雨が上がり野外炊飯でのカレーライスづくりやキャンプファイヤーを楽しむことができました。夕食時に訪問し、子どもたちがつくったカレーを食べさせていただきました。子どもたちからは「私たちがつくったカレーの味はどうですか？」「ごはんも飯ごうで炊きました」「火起こしが大変でした」「家でもカレーならつくれると思う」「家族にもつくってあげたい」など、次から次へと語りかけてくれました。食後の洗い物や片付けも実に手際よく行う様子を目の当たりにし、自然の中で子どもたちが急成長したことを実感することでできました。すばらしい 5 年生でした。2 日目のウォークラリーは班ごとに協力し、新緑の自然を満喫し、無事に来校することができました。ご指導いただきました先生方にも感謝です。



【みんなでつくったカレー最高でした！】

今から実りの秋が楽しみです！5 年生が田植え体験を行いました！

6 月 17 日（火）5 年生が「総合的な学習の時間」の学習の中で田植えを行いました。今年初めての猛暑日となったこの日、地域の方から田植えの方法について説明を受けた子どもたちは、早速、苗を手を持ち、水が張られた田んぼの中へ入りました。「どろどろしてる！」「ぬるぬるしてる！」と子どもたちから歓声が湧き、それぞれが楽しく体験することができたと思います。



【田植えをする 5 年生】

今年は、米の価格高騰に伴う報道を目にする機会が多くあり、多くの皆さんがお米について関心をもったことと思います。今回、田植えを体験した子どもたちには「活動が楽しかった！」だけで終わるのではなく、稲刈りができるまで稲の成長を定期的に観察したり、実りを迎えるまでどのような過程（水の管理や雑草処理、害獣対策など）が必要であるかを考えたり、調べたりするなど、環境問題や生産者の方々の苦勞に思いを巡らせてほしいと思っています。そこに「学びの本質」があると考えています。5 年生に限らず、各ご家庭で食卓を囲む中での話題のひとつにしていいただければ幸いです。

なお、この日は、多くの地域の方やボランティアの保護者の方々に大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

救急救命法講習会開催

6 月 3 日（火）放課後。桐生消防署の署員の方を講師にお迎えし、西小の先生方が救急救命法の講習会を行いました。

プールでの授業が本格的に始まる前のこの時期に、学校では毎年講習会を実施しています。署員の方によると、「現在、桐生市では要請から救急車が到着するまで平均 10 分くらいは要するので、その間にできること（心肺蘇生等）を行うことが大切です。その後の回復や命を救うことにも大きく影響します。」とのお話があり、先生たちも真剣に心肺蘇生法を体験しました。



【消防署員から心肺蘇生の方法を学ぶ先生方】

＜お知らせ＞

右の QR コードから西小の Web ページをご覧くださいと、過去の「学校だより」等がご覧いただけます。



西小ホームページ

「梅がり」西幼稚園児のみなさんが来校



【梅見つけたよ！】

6月4日（水）西幼稚園の園児の皆さんが、西小に梅がりに来てくれました。園児の皆さんが、背の高い梅の木を下からのぞいて、先生に大きな声で「そっち、こっち」と梅の位置を教えてくださいました。先生が棒で突くとたくさんの梅の実が落ちてきました。園児の皆さんは、落ちてきた梅の実を持参した袋に大切に集めます。園長先生によると持ち帰った梅は、梅ジュースにしてみんなで飲むそうです。

西幼稚園の皆さんとは、1年生と一緒に水遊びをする計画もあります。楽しみにお待ちしております。

西支部更生保護女性会総会に参加して

日頃から、学校は多くの方々からたくさんの支援をいただいています。そのひとつである西支部更生保護女性会の総会に先日参加させていただきました。そこで、改めて素晴らしい理念で活動されている会であることを再認識しましたのでご紹介します。会の綱領には、「①一人ひとりが尊重され、社会の一員として連帯し、心豊かに生きられる社会をめざす。②青少年の健全育成に努め過ちに陥った人の厚生を支えとなる。③自己研鑽し、あたたかな人間愛をもって明るい社会づくりのために行動する。」とあります。桐生市には15支部あり、それぞれが地域ごとに活動されているとのことです。

西支部の皆さんから西小への支援として、月に2回程度、子どもたちの「下校時の安全見守りパトロール活動」、例年7月に「雑巾、ライフビズケット、社明うちわ等の寄贈」、2月には6年生を対象に「薬物乱用防止教室」等を行っていただいています。会長（支部代表）さんのお話では、会の存在や活動があまり知られておらず、会員の高齢化や減少も課題であるとのことでした。まずは、若い方にも更生保護女性会の存在を知っていただき、関心をもっていただきたいとのことでした。

校長室から

今ある幸せ…何よりも「健康」であること

大病から1年が経過し、先日病院で精密検査を受診しました。主治医からは「麻痺の症状は、ほぼ固定（これ以上悪くはならないが、よくもならない…）になると思われる。病気をして1年で、ここまで回復する患者さんはよい方です。」とのことでした。それまでは、私にとって「健康」であるということが、「ありがたい」と感じたことは少なかったように思います。むしろ健康でない自分が想像できなかったのかもしれませんが。私にとって「健康」とは「空気」のような存在で、なくては困るが、あって当たり前位にしか感じていなかったということです。

私が我が子に最初に願ったことは、何よりも「健康」であってほしいということでした。しかし、いざ「健康」を手にとると、そのことはあたり前のこととなり、親としての願いは変化します。「子どものためになる！」という思いから、より多くを求め、その願いに対して、私の求めるものと異なる反応や結果がでないこと不満に感じることも多くなります。私（親）の一方的な願いは、時に子どもにとってはプレッシャーであり、苦しい思いをさせてしまっていたかもしれません。今、私は「苦しい、辛い」「うまくいかない」と感じるたびに、一度深呼吸をして、あってあたり前の「健康」であること（＝今ある幸せ）に目を向けるようにしています。そうすることで、悩みや辛さが小さくなり、心が少し楽になるような気がするからです。そこから生まれる心の余裕は、自分だけでなく、相手にも安心感を与えるかもしれません。ちなみに、教頭先生は苦しいときは逃避・幽体離脱（辛い状況から少し離れる・距離を置く）することで心を安定させるように心がけているそうです。

